

必要としてくれる人のために

北上ひまわり基金法律事務所所長・弁護士

日高 拓郎さん

北上ひまわり基金法律事務所は9月14日、本通りに開設されました。ひまわり基金法律事務所とは、弁護士不足の解消のために、日本弁護士連合会の資金援助を受けて、弁護士過疎地に設置される公設事務所。その初代所長として日高拓郎弁護士(埼玉県出身)が赴任しました。

弁護士を職業として選んだ理由を尋ねると、「子どものころから、困っている人の役に立って仕事をしたいと思っていました。中学3年生のときに、弁護士は自分が相談相手になることで、その人が幸せになるようにお手伝いがで

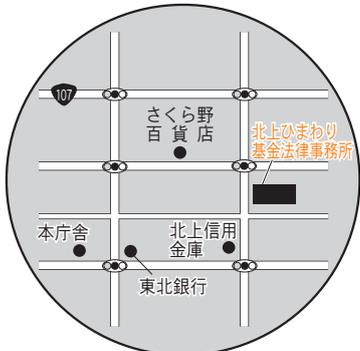


きると思ったので、弁護士を将来の職業に決めました」と笑顔で話していました。

日高弁護士が北上に赴任するきっかけは、司法修習生のころにさかのぼります。司法試験合格後に、研修生として仙台市で実務実習を受けました。初めての東北でしたが、そのときの東北の文化や人の温かさに触れ、親しみを感じ、地方に赴任する機会があったら、ぜひ東北にと考えていました。そんな折、北上での基

金法律事務所の募集を目にし、弁護士が必要な人のため、自分が何とかしなければならな

いと思い、北上に赴任することを決意したそうです。「誰でも気軽に訪ねてもらえる事務所にしたい。市の無料法律相談などにも積極的に協力し、自分が皆さんの悩みを聞くことで、その人が幸せになって欲しい」と話す日高弁護士は、その人が幸せを目指したころの気持ちのままでした。



所在地…本通り1-7-12新町ビル2階
電話番号…65-6432
営業時間…午前9時～午後5時
(土日祝日を除く)



国際交流ルーム発

ハロー! まいぶんんど 119

ペルーのお正月・幸せを呼ぶ黄色い下着!

当ルームのスペイン語講座を担当している小谷マルハさんに出身国、ペルーのお正月の様子を伺いました。

ペルーの一番大きな行事はクリスマスで、パネトーネと七面鳥を食べ、アルコールは飲まないで、Chocolate(ミルクココア)を必ず飲みます。お正月には同じ料理でも、お酒は飲めるそうです。大晦日の晩には家族・友達、恋人など、一番大切な一人に「黄色い下着」をプレゼントする習慣があります。黄色は幸福の色で祝福を表すことから、花やテーブルクロスも黄色にし、インカコーラという黄色の飲み物



小谷マルハさん

を飲みます。年が明ける前、黄色い下着と新しい服に着替えて、ぶどうを一人12粒食べます。街角では古い服や毛布などを集め手作りした等身大の人形を町内ご



とに並べ、カウントダウンで一斉に燃やし、古い運や悪運をはらいませす。道端では子どもたちが花火を楽しみ、大人たちはダンスパーティーに出かけます。

国際交流ルームでは国籍を問わずさまざまな活動や情報を提供しています。お気軽にお立ち寄りください。

□■□■□■ 国際交流ルーム ■□■□■□

電話・ファクス: 63-4497

電子メール: kiah@kitakami.ne.jp

おでんせプラザぐるーぶ3階 生涯学習センター内

開館日: 毎週月-土曜日 午後1時-7時

休館日: 日曜・祝日、第3水曜日、年末年始



中央図書館 ☎ 63-3359
 江釣子図書館 ☎ 77-2215
 和賀図書館 ☎ 72-2322

きたかみ物産館

むねとんとん さえぐさ ひろこ
 カールじいさんの空飛ぶ家
 ジャスミン・ジョーンズ
 60歳のラブレター9 日本放送出版協会
 美智子さまのお着物 写真集
 木村孝・渡辺みどり
 神楽と出会う本 三上 敏視
 ターシャからの手紙 ターシャ・テューダー
 アン.K.ベネデュース
 逃げの一手 100歳詩集 まど みちお



この冬、リニューアル
夏油高原ヨーグルアイス

《12月の新着本から》

『その手に1本の苗木を』
 クレア・A・ニヴォラ 著
 評論社



アフリカの女性として初めてノーベル平和賞を受賞したマータイさんの伝記。「モッタイナイ」の言葉の重みを子どもたち、若者たちに考えてほしい絵本。

『未踏峰』
 笹本 稜平 著
 祥伝社



ハンディを背負った3人の若者と未来を手放した伝説の登山家の出会いが“祈りの峰”への扉を開く。ヒマラヤを舞台にした、人間の希望を描いた小説。

1個 260円
 ◎発送(箱・ドライアイス含む)
 8個セット 2,500円
 12個セット 3,500円

夏油高原開発(株)
 和賀町岩崎新田字畑入山
 国有林内
 ☎65-9001 FAX 65-9002

▶▶(45)



小原 恭二 さん

高原のさわやかさを凝縮
 県産牛乳を使った、低カロリーのプローズンヨーグルトです。昨年から改良を重ね、成分もパッケージも一新。さっぱりしたプレーン味、カップは飽きのこないデザインに仕上げました。夏油高原スキー場で販売しています。スキーの後や夏油高原温泉での湯上がり、ぜひお試しください。全国発送も承ります。

年の瀬
 年の瀬が迫ると今年の10大ニュースや漢字が決まる。元旦の朝、家長は今年はこの年になってほしいと念ずる。前年を振り返りつつ、年によっては進学、就職、仕事、結婚がその中心であり、まずは健康であることと家内安全を話す。今年もついでこの間のことのように思われる。難しい一年だったなという思いの中で、個人的な10大ニュースを、手帳をめくりながら振り返ってみる。



の絶えなかった旅行、ゴルフ、痛飲。苦しかった日々、口角泡を飛ばし話した経営環境、人間関係などが思い出されて悲しくなった。「万障繰り合わせよ、年の頃は間違えるなよ」と言うのと、弔辞は任せると憎まれ口をたたいていた。
 楽しかったことも思い出せた。友人たちとの旅は今年もできた。美しい景色や花々、美味、非日常的なものを求めての旅は開放感に浸れる。ジョークの数々、大きな笑い声、無事帰ってのハバキ脱ぎ。今年もいい旅ができた満足感に浸りつつ、来年の計画へと話は飛躍して楽しかった。
 平凡でも締めくくりは家族の成長と笑顔、家庭の行事の遂行ができた喜びと安堵感。よく頑張ったと言われるか、まだまだ努力しろと言われるか、どうかかな？ 難しい一年を家長としての責任を果たしたと勝手に思い込んで先祖に感謝の報告をし、年越しソバをいただくことにしよう。
 来る年も良い年でありますように。